



一般質問

6月29日(木)・30日(金)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



北川 久人
(創志会)

太陽光発電事業

質問

当市には太陽光発電事業に対して一本化した条例等はない

が他都市の事例はどうなっているか。

答弁

県内では、前橋市、高崎市、太田市の3市が同事業と自然環境や景観などの調和に関する条例を制定している。

生活に不安を覚えるような事業や景観を著しく損ねるような事業に対しては、規制や指導をする必要があると考える。今後は他都市の事例を参考に当市独自の現状に合わせた条例などで一本化したものをつくり、環境先進都市と安全安心な暮らしや美しい景観との調和を



山紫水明な桐生市

今後の取り組み

質問

当市が「環境先進都市将来構想」を掲げ、再生可能エネルギーの活用を推進していることは理解しているが、その一方で市民の皆様が

の規制には対応していると理解している。今後は、当市の現状に合わせて環境先進都市と美しい景観などとの調和を目指し、他市の事例などを参考に当市独自の条例制定について調査していきたい。

目指して規制していくべきと考えるが市の見解は。

答弁

宅地造成工事規制区域内の事業計画は、技術的基準に沿った造成を指導していることから、安全安心のため

スポーツ施設整備

質問

新里地域懇談会で提案があった、清掃センター隣接地へのスケートセンター設置について当局の見解は。

答弁

現状においては、ごみの搬入量の減少により余熱利用の電力や熱源が減少傾向であり、また、分担金を支出しているみどり市、伊勢崎市との協議が必要なほか、



久保田 裕一
(そうそう未来)

ごみの搬入量が少ない2月に焼却炉と発電機を停止した点検整備を実施するため、スケートセンター繁忙期の2月に余熱利用ができないなど多くの課題があるが、設置の可能性については、今後の清掃センターの状況を踏まえながら、研究していきたい。

小学校の特別支援学級

質問

特別支援学級の児童が協力学級に所属する際の出席番号順について、各校で対応が分かれており、当市として統一することが必要と考えるがどうか。

答弁

出席番号順の対応を統一することについては、特別支援学級に在籍する児童の実態が様々であり、統一した対応は難しいと考える。そのため、名簿作成時には保護者と学校とで事前に相談し、保護者の意向を取り入れながら、児童がよりよい学校生活を送れるよう各学校へ再度指導していきたい。



桐生スケートセンター



始 原 井 河 (クラブ21)

教員の過重労働

質問

文部科学省が公表した教員勤務実態調査結果は、公立の小・中学校教員の平日の勤務時間が11時間を超え、教員の多くが「過労死ライン」を超えているという深刻な内容であった。この要因をどのように捉えているか。

答弁

調査では、10年前の同調査と比較して、持ち帰り業務時間が若干減少したものの、学校内の勤務時間は小・中学校ともに増加し、業務内容別では、授業と授業準備、学年・学級経営に係る業務、成績処理、部活動などで増加している。これらの要因としては、情報管理の徹底から仕事を持ち帰りにくくなったことや、土日の部活動指導の増加が考えられる。

質問

教員の負担軽減は将来に向けた喫緊の課題であると考えますが、部活動外部指導員や教師業務アシスタントの導入についての見解は。

答弁

教育委員会では、運動部の中で指導教員の不足している種目における技術指導の支援を目的に、年間20日間指導できる外部指導者の委嘱を行っている。部活動指導員については、国や県の動向を見ながら研究していきたい。また、教師業務アシスタントの導入についても、必要性を含め学校現場とも協議し、学校に対する有効な支援体制を考えていきたい。



授業の様子



人 藤 英 工 (創志会)

公園の維持管理

質問

千葉県柏市で実施している「公園里親制度」のように「身近な公園は自分たちの手で」の考えから、市民がトイレ掃除など公園の環境美化や、遊具の点検、異常箇所の情報提供を行うなどのボランティア活動の取り組みを、今後、桐生市でも導入する考えは。

答弁

将来は、現在の様な身近な公園の維持管理手法を継続していくことが、難しくなることも予想されるので、地元の人や市民の役割分担なども含め、当市に適した管理手法を



市内の公園

研究したい。

自治体クラウドファンディング

質問

自治体クラウドファンディングとは、自治体が関与する事で信頼性が確保されるため、より地域に密着した事業・サービスに限定した資金調達が可能となるが、この自治体クラウドファンディングを活用し、例えば桐生織のゆかた帯の商品開発など地元産業の促進を図る考えは。

答弁

他の自治体の先進的な取り組みなども参考に、企業ニーズを把握し、関係部局とも協議を行いながら、クラウドファンディングを活用した産業振興施策について、研究したい。



肇 山之内 (公明クラブ)

「健幸」に暮らせるまちづくり

質問

健康寿命を伸ばすを実現するための取り組みを強化すべき。その中で「健幸ポイント制度」によるインセンティブの付与が健康づくりの動機付けになったとの検証結果もあり有効性を強く感じる。高齢化の更なる進行という確実な未来を迎える当市だからこそ、こうした施策に積極的に取り組むべく、制度の創設を強く望むが見解は。

答弁

民間企業参入による事業展開は、民間のノウハウとブランド力により費用対効果が高く魅力的な事業が提供され、他自治体でも成果を得ていると認識している。今後、身近な民間企業等との相互の連携・協力体制をさらに深め、民間の健康プログラムを導入し成功している先進事例を踏まえ、研究を継続してまいりたい。



参加者が体操に元気

質問

市民の健幸づくりを力強くサポートすることを旨とし、公民連携の強化による健康施策の更なる充実を推進するべきと考えるが見解は。

答弁

民間企業参入による事業展開は、民間のノウハウとブランド力により費用対効果が高く魅力的な事業が提供され、他自治体でも成果を得ていると認識している。今後、身近な民間企業等との相互の連携・協力体制をさらに深め、民間の健康プログラムを導入し成功している先進事例を踏まえ、研究を継続してまいりたい。

○その他の質問項目

◆公民連携の強化による、公園という公的資産の新たな活用



佐 正 男
(そうぞう 未来)

胃がん検診

質問 胃がんの原因となるピロリ菌を検査し、胃がんのリスクを早期に取り除く事業が全国の自治体で始まっている。当市は、子育て日本一を目指してさまざまな取り組みを行っているが、胃がん予防という「子供たちへの将来の贈り物」として中学生のピロリ菌検診・除菌を実施することについて市の考えは、

答弁 若年層でのピロリ菌の除菌は、薬剤の副作用や免疫への影響を考えると慎重に対処する必要がある。当市では現在、中学生を対象とするピロリ菌検診を実施していないが、今後とも厚生労働省等の動向に注視していきたい。

堀マラソン



堀マラソン

質問

一般の部男子5キロ・10キロの記録は、49歳以下、50歳以上で順位が発表されるが、自分の年齢等での順位を知りたい人は多いと聞いている。年齢別、年代別順位を発表することについて市の見解は。

答弁

技術的、費用的にも可能であるが、年齢の公表は、プライバシーに配慮した形での対応が必要であるため研究していきたい。また、今後は、スポーツ体育課まで電話で問い合わせ頂ければ、年代別、年齢別の順位をお知らせできるようにしたいと考えている。



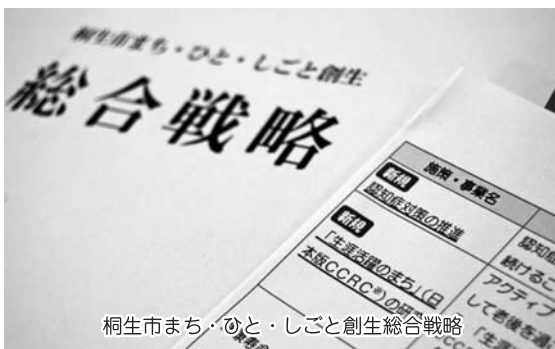
田 基 博
(創志会)

桐生版 CCRC構想

質問 当市の高齢化率は平成元年に13%程度であったが今では34%を超えている。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「高齢者になっても安心して暮らせるまちづくり」の推進の中で、大都市からのアクティブシニアの受け入れや、介護等が必要になった場合でもコミュニティの中でケアを受けながら暮らせるまちづくりについての研究の進捗状況と目標については、

答弁

生涯活躍のまち(日本版CCRC)の研究の現況については、「だれもが、健康時から介護時、終末期まで、地



桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略

域で安心して住み続けることができるまちづくり」という観点から、国や先進他都市の状況等を情報収集し研究を進めている。

当市では、生活支援体制整備事業や各種介護予防事業など、高齢者支援や健康づくりの観点からその支援にまい進しているが、大都市からの中高年齢の移住については、医療や介護の量的確保や介護労働者の確保、住宅や都市計画など、まちづくり全体に關係するため、高齢者施策推進協議会での検討のほか、庁内関係各部署で連携を図りながら研究したい。

その他の質問項目

- ◆小中学校いじめ対策
- ◆特色のある教育の実施



渡 辺 恒
(日本共産党議員団)

公共施設等総合 管理計画

質問 公共施設の長寿命化を実施することで、更新費用が削減できると考えるが、実施について市の見解は。

答弁

施設の長寿命化については、本計画の第3章の中で、「長寿命化の実施方針」として、総合的かつ計画的な管理に基づいた予防保全を実施し、長期使用を図る旨を記載している。今後策



桐生市公共施設等総合管理計画

質問

定する施設類型ごとの個別計画で可能な限り明らかにしていくが、総量を削減する中で、存続させるべき施設は、選別して大規模改修又は長寿命化など必要な措置を図ってまいりたい。

質問 計画策定時、市民の声をどのようにに反映させたか。また、公共施設の市民による意思決定を今後どのように考えているのか。

答弁

計画策定にあたっては、住民基本台帳から無作為抽出した15歳以上の市内在住者2000人を対象にアンケートを実施した。このアンケート結果と計画の内容が整合したものとなるよう十分に配慮してきた。また、計画の行方に関するパブリックコメントも実施した。今後、施設によっては当該施設の利用者や施設が立地する地域の考え方を把握しておくことも必要になると思われるので、個別計画の策定における市民意見の反映方法についても検討したい。



田島 忠一
(そうぞう未来)

特別職報酬等 審議会

質問 どのような組織か。

答弁 特別職の報酬等の額の改定にあたり第三者機関の意見を聞くために、自治体が条例で設置している附属機関である。

審議会は、市長の諮問に応じ、議会の議員の議員報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額について審議し、その結果を市長に答申を行うもの。委員構成は、桐生市内の公共的団体等の代表者や公募により、10人の組織となっている。

質問 どのようなときに開催されるのか。

答弁 平成9年開催の審議会までは、概ね2年ごとに開催していたが、平成13年開催の審議会において、据置き答申がされた後

は、平成23年まで開催はなかった。

なお、平成23年の答申の附帯事項で、「今後は、このように長い期間にわたって開催されないことのないよう要望する。」とされたことから、今回、特別職の任期にあわせて開催する。

質問 一般市民の傍聴は可能なのか。

答弁 平成23年の審議会では、傍聴ができるような形で開催した。

○その他の質問項目

◆桐生が岡動物園

◆野良犬、野良猫の殺処分について

◆低栄養について



桐生市役所



人見 武男
(創志会)

学校の太陽光発電

質問 太陽光発電設備が設置された学校施設は災害時の避難施設となっているが、災害により電気が途絶えた場合は、この設備の電気を使えるのか。

答弁 現在の契約では、災害時に太陽光発電の電気が施設に供給されることになっておらず、電気を施設に供給できる設備になっていない。電気の供給を可能にするためには、新たな工事が必要となるため、今後は太陽光発電の電気を供給できるように検討をしております。



学校の太陽光発電設備

ペットの死体の処理方法

質問 高齢者等はペットの死体を清掃センターに持ち込むことが困難であるが、市の対応及び周知はどのようにしているか。

答弁 飼い主から依頼があった場合、直接職員が飼い主の自宅に伺い、有償にて戸別回収を行っている。清掃センターへの持ち込みについては、ごみカレンダーやホームページで周知しているが、戸別回収についてはペット霊園などでの火葬を希望される飼い主が多いことなどから、特段の周知は行っていない。今後は飼い主のご意見、ご要望を踏まえ、周知方法について検討してまいります。

○その他の質問項目

◆防災意識の向上



小滝 芳江
(クラブ21)

住民票等のコンビニ交付

質問 マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付の導入予定について、当局の見解は。

答弁 導入により各世帯が見込まれるが、現在はさまざまな角度から調査・研究を行っている状況であり、導入の具体的な時期については現段階では未定となっている。



市民課

市職員の女性管理職

質問 当市職員の女性管理職の目標と現状は。

答弁 平成28年3月に策定した桐生市特定事業主行動計画において、平成32年度までに消防職員、商業高校教員を除く、係長以上の女性職員の割合を30%以上としており、現況は平成29年4月1日現在で21・8%となっている。

女性管理職の育成方法

質問 女性職員が活躍できるように市としてどう取り組むのか。

答弁 今後とも管理職育成のための研修に女性職員を積極的に派遣するとともに、育児休業から職場復帰時の支援体制、女性管理職との意見交換会やキャリアデザイン研修等を行い、管理職となることへの意欲向上を図ってまいります。



飯島英規 (無会派)

球都桐生活活性化プラン

質問 過去に提案を受

けた学校跡地を利用したベースボールパーク計画について、再度提案を受けられる考えはあるか。

答弁

前回提案のあった計画のみならず、まちの活性化に繋がる提案については、可能な限り意見や提言として伺う機会を設けてきた。今後もしそのような提案があれば、同様に対応していきたいと考えている。

除草剤の危険性と対策

質問

一般的に市販されている除草剤についての考え方や市民への啓発、また、公園等の公共施設や学校施設における除草剤の使用状況と方向性は。

答弁

除草剤を含む農薬は、農薬取締法で販売及び使用の規制等により品質の適正化と安全な使用の確保が図られているが、全国的に住宅地等で使用基準が守られていない状況である。本市においては、雑草等が繁茂する時期の5月発行の広報きりゆうにて注意喚起を行っている。公園においては除草剤は使用しておらず、機械または人力による除草を行っている。学校施設等では、極力草刈機等で行い、やむを得ず使用する場合は児童・生徒が立ち入らないような体育館裏など作業区域を限定して使用している。



桐生球場



新井達夫 (そうそう未来)

準中型運転免許取得助成

質問

道路交通法の改正により、普通車の運転免許証では、分団の消防ポンプ自動車や運転できないが、準中型運転免許を取得するための助成をする考えは。

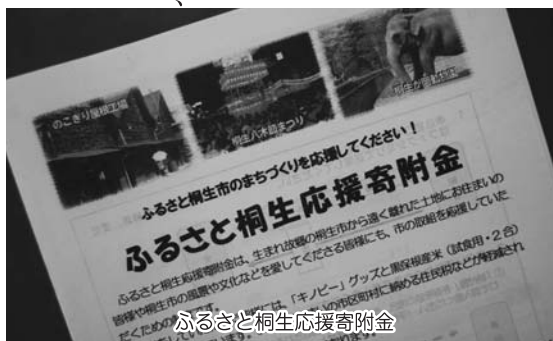
答弁

今回の免許の免許制度改正による対応は、今後の消防団運営に係る重要な課題であり、消防団員の確保上、考慮も必要であり、他市の対応状況を参考にしながら研究したい。

ふるさと納税

質問

本来の制度趣旨を鑑みて、ふるさを



ふるさと桐生応援寄附金

とを良くするための寄附となるよう、市として国に働きかける考えは。

答弁

平成28年5月に総務省が実施した、各自自治体におけるふるさと納税の現況に関する調査において、「本来の制度趣旨に沿った運用となるような税制措置」が図られるよう要望した。その後も、返礼品競争がエスカレートする中で、徐々にこうした状況への批判も高まり、平成29年4月1日に、総務省より各地方公共団体に対し「改めて、制度の趣旨に沿った責任と良識ある対応を徹底するよう」との通知が出るに至った。市としては、引き続き良識ある対応を心がけ、今後必要があれば、国等に対し更に意見を述べていきたい。



周東照二 (公明クラブ)

猫の適正飼養

質問

猫に関する市民からの苦情や対策要望は。

答弁

平成28年度に県1東部出張所に寄せられた猫の苦情は210件あり、当市への苦情や対策要望は61件だった。

質問

今年3月に県が策定した「飼い猫の適正飼養及び飼い主のいない猫対策ガイドライン」の周知方法は。

答弁

県はホームページで周知を行っている。市としては、市民からの相談時に県が推奨

する猫の適正飼養の基準やルールを参考に説明するなど、活用を始めた。今後は、ガイドラインの周知も進めていきたい。

質問

ポイ捨て等防止条例を改正し、公共の場での餌やりを「動物の餌を放置するポイ捨て等の行為」と定義し、また飼い猫のふんを回収し持ち帰ることを飼い主等の責務とすることで、猫の適正飼養が進むと期待するが、当局の見解は。

答弁

猫は飼い主の特定が難しく、条例が形骸化してしまうおそれがあるため条例策定時には盛り込まなかった。しかし、飼い猫の適正飼養は、市民の快適な生活環境を維持していくために大変重要と認識しており、今後、野良猫と飼い猫の区別をつけることや室内飼いを推奨するなど、広報等により周知啓発を行っていき



平成29年3月 群馬県

たい。



岡部 純朗 (そうぞう未来)

体育館新設

質問 現在設計中である相生の新体育館の建設場所はどこになるのか。

答弁 新体育館は現在の附属球場A Bの場所に建設する予定となっており、野球やソフトボールで使用されている現在の付属球場の機能は、運動公園内に残せるよう検討を進めている。

質問 ソフトボール専用球場はどこになるのか。

答弁 今後、ソフトボール関係者と相談し、検討してまいりたい。

アスベスト

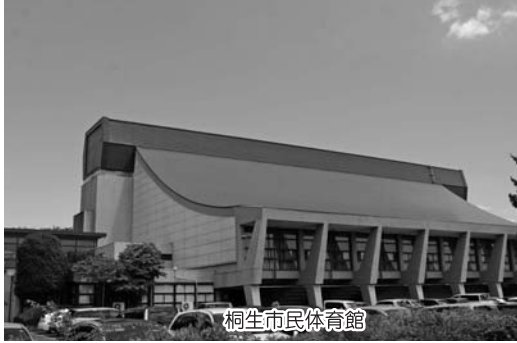
質問 アスベストを含有した吹き付け材がまだ残っている市有施設はあるのか。

答弁

境野水処理センターの機械棟においてまだ残っているが、その他の施設は、利用者が立ち入る場所のアスベストの含有調査及び対策工事は完了している。なお、天井裏等、通常、利用者が立ち入ることがなくアスベストを吸い込むおそれがない場所の調査は実施していないが、これらの場所については、解体工事や大規模改修工事等の際に調査を行い、適切な措置を講じたいと考えている。

○その他の質問項目

◆放課後児童クラブについて



桐生市民体育館



関口 直久 (日本共産党議員団)

長尾根峠

質問 川内町とみどり市大間々町を結ぶ重要な道路である長尾根峠は、平成25年10月から全面通行止めとなり、関係する地域の方々から早く開通をと望む要望が出されている。平成29年度末の開通予定と聞いているが、今年度の完成に向け、当局としてどう取り組んでいくのか。



長尾根峠

答弁 今年度の交付金事業費は、予算額1億2000万円に対して交付決定額が9600万円と8割程度の内示となっているため、現段階では車道部と歩道部のアスファルト舗装工が残る

ことになる。工事完成に向け、国の補正や県内他市の事業間流用を含め、国県に対し今後も強く要望し財源確保に努めていきたい。

質問

集会所入口(桐生地域)の段差を解消し、車イスなどでの利用向上に向けた当市の取り組みについて。

答弁

集会所は、地域に利用していただく必要がある施設であり、地域の方が集い親しまれているコミュニティの拠点である。今後は、各集会所の状況を把握し、公共施設等総合管理計画を踏まえつつ、関係部局等とバリアフリー化の方針や基準について検討していきたい。

集会所の利用向上

市税納付について



伏木 康雄 (無会派)

質問

クレジットカードによる市税の納付について、県内では前橋市、高崎市、伊勢崎市がクレジットカードによる市税納付を導入しているが、当局においてはどのような検討をしているのか。また、導入に向けた考え方は。

答弁

当局では平成20年4月から、コンビニでの納付、また、イ



納税課

ンターネットバンクやATMから納付ができるペイジー納付を導入しており、その際、クレジットカードによる納付についても検討した経緯がある。当時については、クレジットカードでの納付に対する需要が多くは見込めなかったことや、口座振替などに比べ、取扱手数料が格段に高かったことから導入には至らなかった。その後、県内では、前橋市、高崎市、伊勢崎市の3市が取扱い手数料の一部を納税者負担で開始したため、導入後の利用状況や収納率の向上効果等について動向を注視しているところである。3市の状況を見ると、収納割合は0.2%から0.4%で推移しており、利用はそれほど進んでいないように見受けられるため、導入については費用も多くなることが、必要性を見極め、多くの市民・納税者にとって利便性の高いものであるか等関係部局と連携して引き続き研究してまいりたい。